

第四十四回帝國議會
衆議院

米穀法案外二件

(米穀需給調節特別會計法案)
糧食救助基金法中改正法律案

委員會會議錄第四回

會議

大正十年三月四日午前十時五十二分開議

出席委員左ノ如シ

山本悌二郎君

八田 宗吉君

長田 桃藏君

中山 佐市君

東 武君

天春 文衛君

池田猪三三君

木下甚三郎君

山口 嘉藏君

成田 榮信君

藏内次郎作君

萩 亮君

長峰 與一君

齋藤宇一郎君

内藤 濱治君

石井 研二君

荒川 五郎君

古賀三千人君

土井 權大君

前川 虎造君

上田彌兵衛君

小菅劍之助君

農商務大臣 男爵山本

達雄君

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 男爵山本

達雄君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 小野 義一君

大藏省參事官 三土 忠造君

農商務次官 田中 隆三君

農商務省農務局長 岡本英太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法案

米穀需給調節特別會計法案

糧食救助基金法中改正法律案

○委員長(山本悌二郎君) 是ヨリ開會致シマス、最

早質問ハ前回ニ於テ打切ッテ居リマスカラ、是ヨリ討

論ニ入リマス、三案ヲ一括シテ審議ニ付シマスルガ

故ニ、若シ修正ノ御意見デモアリマシタナラバ、此

三案全部ニ就テドレナリトモ御陳述アルヤウニ致シ

タイ、ソレデハ通告ガアリマスカラ、通告順ニ依ッテ

發言ヲ許シマス、前川虎造君

○前川虎造君 私人本案ヲ賛成スル者デアリマ

ス、併ナガラ爰ニ一言附加ヘテ賛成ヲ致シタイと思

フ、其理由ハ本案ノ形ノ上ニ現ハレテ居ル所ヲ見マ

スルト、三案共唯ダ米穀ノ需給ヲ調節スルト云フコ

トニ必要ナル大體ノモノヲ御規定ニナッタダケデア

ル、サウシテ跡ニ殘ッテ居ルモノガ何デアアルカト云フ

ト、運用上ニ關スルコトハ悉ク皆隠レタコトニナッテ

居ル、併ナガラ需給調節委員ノ如キドウ云フモノガ

出來ルノカ、又此需給委員ガ如何ナル權能ヲ持ッテ居

ルモノカ一向分ラヌ、併シ段々ノ質問ニ依ッテ要領ヲ

聽キマシタ所ニ依リマス、ト云フ、汎ク國民ノ中カ

ラ經驗ノアル人、及貴衆兩院ノ議員迄モ混ゼテ、政府

ハ慎重ニ此機關ヲ設置スル、サウシテ之ヲ諮問機關

トシテ諮問ヲシテ、サウシテ農商務大臣ガ之ヲ決行

スルト云フコトニナッテ居ルト云フコトデアリマス、

ソコデ諮問機關デアリマス、ルガ故ニ、或ル場合ニハ

必ズ此答申ヲ實行シナケレバナラヌト云フ譯デナイ

カラ、農商務大臣ノ權能ニ依ッテ諮問ハスルガ、ドウ

デモナルト云フコトニナッテ居リマス、サウ云フ譯デ

アリマスカラ、ドウシテモ此本案ヲ吾々ノ意思ノ如

ク修正スルト致シマスレバ、恐ラク困難ナ事情ガ生

ジマス故ニ、大藏大臣及農商務大臣ガ初メテノ試ミ

デアル故ニ、十分ノ注意ヲ以テ遺ルト云フ御説明モ

アリマス、併シナガラ是ハ農商務大臣ト大藏大臣ト

ノ間ニハ多少意思ノ阻隔ヲ來シテ居ル點モ、吾々ガ

質問應答ノ間ニ見出スノデアリマス、ソレデ私共ノ

此案ヲ賛成スル理由ハ、動モスルト此米ナルモノハ

日本ノ特殊ノ生産品デアッテ、外國ヘ行カナイ性質ヲ

持ッテ居ルガ、一面ニ外國カラシテ此米ガ入ッテ來ル

ト云フ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、大概ハ此小賣

商人ハ日本ノ米ニ向ッテ外米ヲ加ヘテ居ル、其高ハ一

斗ニ付テ三升位入レルト云フコトハ、殆ド公然ノ祕

密ニナッテ居ル、然ラバ日本ノ米ヲ食フトキニハ一

全ク食フ方ニハ必ズ百万石食フ中ニハ三十石ト云

フ外米ヲ混ゼテ食フコトニナッテ居リマス、故ニ何等

カノ方法ニ依ッテ之ヲ調節シテ行キマセヌ以上ハ、此

米ノ剩ッタ上ニ、外米ノ輸入ノ爲メニ餘計剩ルト云フ

ヤウナ、此形式ガ生ジテ來ルト云フ一ツノ缺點ガア

ルノデアリマス、ソレカラ此法案ハ唯ダ大地主ヲ救

護スルト云フ弊ニ陥リ易イ、小農小作人ニハ何等ノ

恩惠ヲ與ヘル事モ出來ナイト云フコトニナリ易イ、

ソレデ是等ノ點ヲ非常ニ御考慮ニナッテ、サウシテ總

テ之ニ伴フ弊害ト云フモノヲ十分ニ除クト云フコト

ニ御注意下サラス以上ハ、偶々此法案ガ出來タ爲メ

ニ、却テ他日吾々ガ苦シマナケレバナラヌト云フヤ

ウナ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ深ク憂フル

ノデアリマス、即チ是ハ唯ダ條文ノ改正ヨリハ、寧ロ

此運用ト云フコトニ非常ニ大切ナル問題ガ此案ニ生

ジテ來ルノデアリマス、ソレデ既往ノ經驗ニ依リマ

シテモ、法案ハ立派ナ法案、政府ノ意思ハ立派ナ意

思デアッテモ、運用宜シキヲ得ザル爲メニ、此米ニ於

テハ屢々失敗シタ經驗ヲ持ッテ居リマスカラ、此度ハ

ドウカ斯様ナ事ニナラスヤウニ、此法案ノ目的、即チ

需給調節ノ目的ト云フモノヲ達セラシヤウニ、十分

ニ御努力ヲ願フヨリ仕方ガナイ、全體カラ言ヒマス

レバ、私共ハ是ハ失敗ニ終リハシマイカト云フ甚ダ

不安ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、此不安ヲ除キ得

ルヤウニ御努力ヲ願ヒタイト云フコトヲ、十分爰デ

宣明ヲ致シテ、サウシテ私共ハ此法案ニ同意ヲ致ス

者デアリマス、是ダケ申上ゲマス

○委員長(山本悌二郎君) 小菅劍之助君

○小菅劍之助君 私人今回政府ガ御提案ニナリマシ

タ此法案ニハ、遺憾ナガラ反對スル一人デアリマス、

食糧政策ハ社會問題ニ屬スル大切ナル問題デアリマ

スカラ、是ガ施設方法ニ至リマシテハ、慎重ナル考慮

ヲ拂ハレテ、國家百年ノ大計ヲ樹ツルト云フ事ガ最

モ必要ナ事ト存ジマス、然ルニ此法案ハ杜撰ニシテ

且ツ缺點ガ多イヤウニ見受ケルノデアリマス、第一

二億圓デ調節ガ出來ルト農商務大臣ハ言ハレマスガ

若シ是ガ豐作ガ二三年續クトカ、又反對ニ不作ガ二

三年モ續クトスルト、一億圓ト云フ金ヲ以テ之ヲ調節

スル事ハ甚ダ至難デアラウト思フノデアリマス、忽

チ運用上ニ至大ノ影響ヲ來スデアラウト私ハ考ヘル

ノデアリマス、次ニ見通スベカラザル弊害ガアルノ

デアリマス、政府ハ此多大ナル米ヲ御買上ナサルニ

ハ相當ノ時日ガ掛ルノデアリマス、然ルニ投機師ハ

全國ノ米穀取引所ヲ利用致シマシテ、定期米ヲ買フコトニナリマスカラ、洵ニ敏速ニ買付ケルコトガ出來ルノデアリマス、又轉賣、買戻等ニ至ッテモ敏速ニ巧妙ニ行フコトガ出來ルノデアリマス、故ニ其度毎ニ投機師ガ暴利ヲ得ルト共ニ、我國ノ經濟界ハ擾亂サル、虞ガアルノデアリマス、尙ホ又大ニ考慮ヲ拂ハネバナラヌ事項ガ一ツアルノデアリマス、目下我中産階級以下ノ細民ハ非常ニ困難シテ居ルノデアリマス、勞働賃銀ハ益々安クナリ、收入ハ益々減ズル許リデアリマス、ソレニ我國ノ需要物品ハ、只今年額以下ニモ低落シテ居ル物ガ澤山アリマスルガ、彼等ノ最モ生活ニ必要ナル所ノ物品ハ未ダ左程低落シテ居リマセヌ、然ルニ米ガ安イノハ彼等ガ唯一ノ救濟物トシテ居ルノデアリマス、唯一ノ救濟物タル米ヲ政府ガ御買上ニナツテ、價格ヲ高ク爲サルト云フコトニナリマス、細民ハ困難ノ上ニ尙ホ困難ヲ加ヘ、忽チ生活ヲ脅スト云フコトニナルノデアリマス、此點ニ就テモ政府ニ於カセラレテ深ク御考慮ヲ拂ハネバナラス事デアラウト思フノデアリマス、尙ホ延テハ我國ノ産業貿易ヲ阻害シ、永遠ニ惡影響ヲ貽ス虞ガアルト考ヘルノデアリマス、要スルニ此法案ニ依ッテ受ケル所ノ利益ハ極メテ僅少ナル、又此法案ニ依ッテ國民ノ蒙ル所ノ弊害ハ極メテ廣大ナルト考ヘルノデアリマス、私ハ此點ニ就キマシテ深ク考慮ヲ拂ヒ、遺憾ナガラ本案ニ反對スル次第デアリマス

○齋藤宇一郎君 私共ハ聊カ修正ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、本案ハ大體ニ於テ固ヨリ賛成スル者デアリマスガ、此案ハ大切ナル案ニシテ、生産者モ消費者モ此法案ノ力ニ依ッテ相當ナル安定ヲ得ナケレバ、我國ノ食糧政策ノ實行モ困難デアリ、隨テ生活ノ安定ヲ得ル事ハ期シテ望ムベカラザル事デアリマスカラ、私ハ出來得ルダケ完全ニ致シタイト云フ意味ニ於テ修正ヲ加ヘルノデアリマス、修正ノ箇所ハ第一條ノ中ニ、原案ハ第一條「政府ハ米穀ノ需給ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキ」ト斯様ニアリマスガ、其需給ノ下ニ「及ヒ價格」ト云フ四字ヲ入レルノデアリマス、即チ「政府ハ米穀ノ需給及ヒ價格ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキ」ト斯様ニ修正ヲ致スノ

デアリマス、第二條ニ於テ亦同ク需給ノ下ニ「及ヒ價格」ノ四字ヲ挿入スルノデアリマス、而シテ第三條ノ次ニ第四條トシテ一箇條ヲ加ヘルノデアリマス、即チ第四條第二條第三條ノ場合ニ於テハ米穀需給調節委員會ノ諮詢ヲ經ル事ヲ要ス米穀需給調節委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、斯様ニ修正ヲ致スノデアリマス、尙ホ原案ノ第四條ヲ順次繰下ゲテ第五條ニナリマスガ、其中ニモ矢張「米穀需給」ノ下ニ「及ヒ價格」ノ四字ヲ挿入スルノデアリマス、斯ノ如ク修正致シマスル理由ハ、先日來細カニ質問應答ヲ致シマシタ結果、政府ノ説明ニ依レバ當ニ量ノ問題ノミナラズ、價格ノ調節モ考慮シタルト云フコトハ明カニナルノデアリマス、又實際本案ヲ運用スル上ニ於テ、矢張兩方ヲ考慮シナケレバ、前ニ述べル生産者及消費者ノ安定ヲ得ルコトハ六ヶシイノデアリマス、詰リ私共ノ考ヘル通りニ、此需給調節委員會ト云フモノヲ必ズ設ケテ、而シテ其働キニ依ッテ本法ノ運用ヲ全カラシムルコトニナラナケレバ——其委員會ガ此問題ヲ攻究スル上ニ於テ、唯ダ法ノ上ニ於テ量ノ問題ノミ考ヘルト云フコトニナレバ、甚ダ其働キガ狹隘ニシテ、所謂調節ヲ全フスルコトガ不便不完全ナルト考ヘルノデアリマスカラ、第一條ノ中ニ兩方意味シテ、何レヨリ考ヘテモ、何レノ方面ヨリ見テモ、最モ完全圓滿ニ行ハレルヤウニ明ニシテ置クコトガ必要ナルト考ヘマシテ「及ヒ價格」ノ四字ヲ挿入致シタルデアリマス、ソレカラ第四條ヲ加ヘテ此調節委員會ノ設置ヲ法ノ上ニ規定致シマシタノハ、數日來ノ政府ノ説明ヲ承リマスレバ、此法ノ運用ハ一ニ調節委員會ノ働キニ俟タナケレバナラスト云フコトニナルノデアリマス、ソレ程大切ナルモノデアラナラバ、是非法ノ上ニ於テ必ズ之ヲ設ケルコトニ規定シテ置カナケレバナラスト思フノデアリマス、最近政府委員ノ説明ヲ聽キマスルト、法ノ上ニ無イノデアアルカラ時ノ政府ノ考ニ依ッテハ置カナクモ宜シイト、但シ現政府ハ置ク積リデアルト云フヤウナ程度ノ説明デハ、甚ダ不徹底デアル、不確實デアルノデアリマス、故ニ此委員會ヲ置クト云フ事ダケハ、法律ノ上ニ於テ確實ニ規定シテ置クコトヲ必

要ト認メマシテ、此第四條ヲ設ケルノデアリマス、此委員會ハ、前ニモ此委員會ノ中ノ誰方カラカ御話ガアリマシタ通り、却テ弊害ガ多クシテ、餘程此委員會ト云フモノハ困ルダラウ、故ニ寧ロ政府ニ全責任ヲ負ハシテ置ク方ガ宜イト云フ御意見モ現ハレタヤウデアリマスガ、私ノ考デハ矢張斯ノ如ク國家萬民ノ利害得失ニ關スルモノハ、廣ク意見ヲ求メ、多クノ知識ヲ集メテ、十分ニ研究シタ上デ決定スル事ガ最モ妥當ナル方法ト考ヘマス、是非此委員會ヲ設ケテ、而シテ其人選ノ如キハ、公明正大、最適當ナ人ヲ舉ゲテ、其決議ノ如キハドノ方面カラ觀察シテモ、一點ノ非難ガナイヤウニ力メルト云フコトハ固ヨリデアリマシテ、吾々ハ此委員會ヲ最モ重ク考ヘテ法律ノ上ニ規定スルノデアリマス、米穀法案ノ方ノ修正ハソレダケデアリマシテ、罹災救助基金法中ノ改正案ニ對シテ、修正ノ箇條ガアリマスカラ、ソレヲ申上ゲマス、罹災救助基金ノ改正ノ政府提案ヲ見マスト、第十七條第一項ニ左ノ一號ヲ加フルトシテ、米ヲ買入ルルト云フ第五號ヲ加ヘラレタノデアリマス、熟シ此五號ノ運用ニ就テ考ヘマスルト、中ニ各縣各別ニヤルト云フコトハ困難ナルト思フノデアリマス、隨テ是ガ爲メニドレダケノ效果ヲ持來スカト云フコトハ甚ダ疑問デアリマス、併ナガラ是等ノ目的ヲ、即チ米穀ノ需給調節及價格ノ調節等ニ有ユル手段ヲ以テ力ヲ盡スト云フコトハ、今日ノ我國ノ國情トシテ必要デアリマスカラ、之ニ敢テ反對ハ致シマセヌ、唯ダ更ニ今日ハ主トシテ農村等ノ金融ニ就テハ益々圓滑ヲ缺キマシテ、或ハ資金ノ缺乏ヲ訴ヘマシテ、非常ニ困ルノデアッテ、是等ノ事ガ積リ積リテ屢々斯ウ云フコトヲ繰返スノデアリマス、故ニ私共ハ農村ノ發達ノ爲メニ國法ヲ以テ獎勵シテ居ル所ノ、産業組合及農業倉庫ト云フヤウナモノヲ將來ニ於テ大ニ力ヲ加ヘテ、其進歩向上ニ努メナケレバナラスト考ヘマス、故ニ斯ウ云フ罹災救助基金ノヤウナモノガ各縣ニアル以上ハ、其餘力ヲ以テ出來得ルダケ斯ウ云フ所ニ低利ノ資金ヲ供給シテ、以テ是等必要ナル機關ノ發達ヲ助ケルト云フコトハ、永遠ノ策トシテ最モ大切ナル事ト思ヒマスカラ、第十七條

ノ第一號中ニ其意味ヲ挿入シテ、以テ只今述ベマシ
タ目的ヲ出來得ルダケ達シタイト思フノデアリマ
ス、即チ第十七條第十一號ガ斯様ニナルノデアリマ
ス、國債證券、地方債證券、勸業債券、日本興業銀行
債券、北海道拓殖銀行債券、農工債券ノ應募買入又
ハ府縣其ノ他ノ公共團體ノ下ニ及産業組合農業倉
庫「ト云フ字ヲ入レルノデアリマス、此處ニ入ルノデ
アリマス、農業倉庫ハ利付ニテ貸出スコト但シ地方
債證券及債券ノ應募額買入額並府縣其他ノ公共團
體「其次ニ及産業組合農業倉庫」ト云フ字ヲ入レマ
シテ、ヘノ貸出額ハ合シテ罹災救助基金年度初ノ現
在高ヨリ第三條ノ制限額ノ三分ノ二ヲ控除シタル金
額ヲ超ユルコトヲ得ス「斯ウ云フコトニ直リマス、ド
ウカ御賛成ヲ願ヒマス

○委員長(山本第二郎君) 齋藤君ニ一寸御伺シテ置
キマスガ、サウスルト政府ノ原案ハ其儘デ、更ニ是ダ
ケノ文字ヲ第十七條ノ第一號ノ中ニ挿入スルト云フ
意味デスカ

○齋藤字一郎君 サウスデス

○土井權大君 私ハ此案ニ賛成ヲスル者デアリマ
ス、其理由ト致シマシテハ、第一ハ食糧政策ノ上カ
ラ、第二ハ社會政策ノ上カラ賛成ヲスル次第デアリ
マス、御承知ノ通り國民生活トシテ食糧政策ヲ確立
セシメテ置ク「ト云フコトハ緊要ナル問題デアリマ
ス、從來食糧政策トシテ我が日本ニ根本的ノ政策ガ
無カッタノヲ遺憾トシテ居リマシタ折柄、斯ノ如キ案
ガ出タト云フコトハ、確ニ此食糧政策解決ノ第一歩
デアルト考ヘル次第デアリマス、第二ト致シマシテ
ハ、御承知ノ通り米ガ高クナリ或ハ廉クナリ致シマ
シテ、或ハ農民ガ苦ミ或ハ消費者ガ苦ムト云フ如キ
事ガアリマシテ、常ニ生活ヲ脅威サレタト云フノガ
是迄ノ事實デアリマス、然ルニ斯ウ云フ案ガ出マシ
タナラバ、其等ノ脅威ヲ緩和スルコトガ出來、所謂社
會政策ノ實行ノ一ナリト信ズル次第デアリマス、所
ガ色ト御議論ガアリマシテ、或ハ消費者細民其等
ノ人ニハ非常ニ不便デアル、斯ウ云フ御議論ガアリ
マスガ、私ハサウスデナイ、却テ此方ガ細民或ハ消費者
ニ便利デアル、騰ッタリ下ッタリスルノガ第一消費者

ガ困ル、ソレカラ米穀法ヲ能ク趣味シテ見マスルト、
常平倉ト云フヨリ寧ロ昔ノ社會、義倉ト云フヤウナ
意味ニナツテ居リハシナイカ、即チ米ノ澤山穫レタ時
ニハ貯蓄シテ置イテ飢饉年ニ出シテ來ル、必ズシモ
貯蓄トマデハ行カヌデセウケレドモ、稍々之ニ近イ
所謂社會、義倉ノ性質ヲ帶ビテ、極メテ消費者ニモ
便利デアアル、斯ウ確信スルノデアリマス、消費者ニハ
不便デナイノミナラズ、消費者ナドニ生活上ノ利便
ヲ與ヘヤウト致シマスナラバ、決シテ斯ウ云フ米穀
法ナドヲイラタリセズトモ、更ニ産業組合デアルト
カ、所ハ同業組合ノ改正ト云フヤウナ、色ト制度ノ改
正、現在組織ノ改善ト云フコトガアルダラウ、米ナラ
米ガ高イ、或ハ薪炭ガ高イ、酒ガ高イト云フコトハ、
同業組合ガアリマシテ——御承知ノ通り小賣同業組
合ガアツテ、其處デ價格ヲ一定シテ、是以下ニ賣ツタナ
ラバ除名シテシマツテ、將來出來ナイヤウナ事ニシテ
居ル、東京ニモアリマス、神戸ニモアリマス、其等ノ
改正ヲミタナラバ、消費者ハ廉イ所ノ米ヲ、或ハ酒
ヲ、或ハ薪炭ヲ常ニ買フコトガ出來ルダラウ、又更ニ
産業組合ノ運用又改正ナドヲ致シマシタナラバ、消
費者ハ極メテ便利ニナリ、生活ノ安定ヲ得ラレル事
デアラウト思フ、ソレガ私ハ根本デアルト斯ウ考ヘ
テ居ル、ソレカラ第二トシテ出テ居リマスノハ、價格
主義ト數量主義ノコトヲ齋藤君ガ言ハレマシタガ、
是ハ價格モ數量モ盾ノ兩面ノ如キモノデアラウト思
フ、數量ガ少ナクナツタナラバ價格ガ上ガル、數量ガ
多クナツタナラバ價格ガ下ガル、是ハ私ガ申サズトモ御
承知ノ通りデアアル、故ニ必ズシモ價格ト云フ文字ヲ
入レズトモ、原案ノ通り經濟上ノ言葉ノ需給調節ト
云フ言葉デ足りテ居ルト思フ、丁度一匹ノ鰈ガ一面
ハ白ク一面ハ黒イ、其白黒ヲ論ズルヤウナ譯デハナ
イカト考ヘルノデアリマシテ、詰リ蛇ニ足ヲ附ケル
ヤウナ事ニナリハセスカト思フ、ソレ故ニ私ハ原案
ヲ維持スルト云フ說ヲ主張スルモノデアリマス、ソ
レカラ其次ニ需給調節委員ト云フモノヲ法律ノ中ニ
書イテ置イタナラバドウデアアルカ、斯ウ云フ御意見
デアリマスガ、私ハ書カヌ方ガ宜イト思フ、何故デ

アルカト云フト、是ハ初メテノ試ミデアルカラ、需給
調節委員ト云フモノハ弊害ニナルカモ知レヌ、愈々
運用ナリ實施致シマス上ニ於テハ非常ニ便利ナモノ
デアアルカモ知レヌ、ソレハ將來ノ問題デアリマスカ
ラ分リマセヌ、故ニ取敢ズ法律ニ書カズシテ、需給調
節委員ト云フモノヲ廢メテシマツテ、大臣一個ノ權利
デ需給調節ヲ圖ル、斯ウ云フ事ニシタナラバドウデ
アラウ、斯ウ云フ意見デ私ハ原案維持ニ賛成スル者
デアリマス、又主張スル者デアリマス、ソレカラ第四
デアリマスガ、罹災救助基金ヲ公共團體及産業組合
ニ運用セシメタナラバドウデアアルカト云フ御主張デ
アリマス、即チ運用セシムベシト云フ御主張デアリ
マスルガ、元來今日ノ信用組合ト云フモノハ、日本ニ
隨分澤山アリマス、一万三千デシタカアリマスルガ、
其中ニハ非常ニ良イ産業組合ト惡イ産業組合、斯ウ
二ツニ分レテ居リマス、良イ所ノ産業組合、良イ所ノ
信用組合ハ、實ハ金ガ剩ツテ困ッテ居ル、郵便局ヘ持ッ
テ行クトカ、或ハ貯蓄銀行ヘ持ッテ行クトカ云フヤウ
ナ事ヲシテ、而シテ其信用組合ヲ信ジテ百姓ハ金ヲ
預ケテ行ク、ソレガ爲メニ同業組合デモ良イ組合ナ
ラ金ガ剩ツテ困ッテ居ル、斯ウ云フ事情デアリマス、而
已ナラズ其所ヘ低利資金ヤ何カラ良イ組合デアツタ
ナラバ貸シテ行ク、現ニ吾々ガヤツテ居ル信用組合ハ
低利資金ヲ押付ケラレテ借受ラシタト云フ事實ガア
ル、オ前ノ組合ハ良イカラドウゾ預ツテ呉レ、低利資
金ヲ借りテ呉レト斯ウ言フ、所ガ惡イ組合ニナルト
中ニ整理ガ付イテ居ラス、金ヲ貸シタ所ガ貸倒レニ
ナツテシマフ、斯ウ云フヤウナ狀態デアリマス、サウ
云フ組合ニ限ツテ金ガ無い、ソレハドウ云フ譯カト云
フト、即チ信用組合ニ對スル所ノ監督ト云フコトガ
行届イテ居ラス、政府ナリ或ハ府縣ナリノ手が足り
マセヌカラデアリマセウ、ソレ故ニ此組合ハ信用ガ
アルカ、此組合ハ不信用デアアルカト云フコトノ與信
的行爲ガ出來ナイ、與信的行爲ガ出來ナイ爲メニ、惡
イ所ノ組合ノ發達スル時期ガナイ、惡イノデモ其事
情ヲ調査シ監督ラシ、而シテ信用調査ト云フコトヲ
シタナラバ自然ト良クナツテ來ル、導ケバ良イ所ノ
組合ニナル、又組合員モ監督ガ嚴重デアル故ニ組合

ハ立派ニヤルダラウ、斯ウ云フヤウナ信念ヲ組合員ガ持チマシテ、自然ト組合ヲ信ズルニ至ル、信ズルニ至ッタナラバ、良イ所ノ産業組合、良イ所ノ信用組合ニナル、斯ウ云フヤウナ状態ニナル、故ニ此事ニ就キマシテハ反對ヲスル譯デハナイ、併ナガラ一時此主張ヲシテ置イタルドウデアルカ、公共團體及産業組合ニ運用セシムルト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ時期尙早デアル、即チ罹災救助基金ヲ公共團體及産業組合ニ運用セシムルト云フコトハ時期ガ早イ、ソレ故ニ此信用組合ト云フモノヲ先ツ整理シテ、例ヘバ中央會ナラ中央會ヲシテ監督權ヲ持タストカ云フコトニ致シ、段々信用ノ途モ付キ、又與信ノ途ガ付イタ後ニ、齋藤君ノ御意見ノヤウニ改正シテモ、敢テ遅カラズ、斯ウ私ハ考ヘル次第デアリマス、即チ時期尙早ト云フ理由ヲ以テ反對スルト同時ニ、原案維持ヲ主張スル次第デアリマス、私ノ贊成スル理由ハ、以上ノ通りデアリマス、要スル所社會政策ノ上カラ、食糧政策ノ上カラ、本案ハ確カニ進歩シタ案デアルト斯ウ考ヘタ次第デアリマス

○荒川五郎君 私ハ齋藤君ノ修正意見ニ贊成致スノデアリマス、國民生活ノ大本タル米穀ガ價格ガ非常ナ亂高下ガアリマシテ、時ニハ消費者ヲ脅威シテ、米暴動ガ全國ニ起リ、又其時ヲ格別隔テナイ時ニ價格ガ非常ナ暴落ヲ致シテ生産者ヲ脅威スル、此大切ナ食糧品ガ常ニ生産者ヲ脅威シ、消費者ヲ脅威シ、常ニ順次交換シテ國民全般ニ大不安ヲ與ヘルト云フコトハ、我ガ立國ノ上ヨリ見テ、爲政者ノ多大ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ至重至大ノ問題ト心得マス、其米穀ヲ調節スル爲メニ、政府ガ此米穀法ヲ提出セラレタト云フコトハ、私共ノ大ニ贊意ヲ表スル所デアリマス、冀クハ之ニ依テ生産者消費者共凡ソノ安心ノ根據ヲ持ッテ、吾ガ正業ニ努力シテ國運ノ發展ヲ期スルヤウニナリタイト云フコトハ、切ニ希望致スノデアリマス、然ルニ本案ノ趣意ヲ説明セラル、政府ノ答辯ヲ承レバ、需要供給ヲ調節スルノデアルト云フ一方ニハ、買上ノ場合ニ於テモ其數量ヲ豫メ公示スルコトガ出來ナイノハ、即チ買上ゲル場合ニ相當ノ價格ニ達シタナラバ買上ヲ止メナケレバナラヌカラ

ト、斯様ナル説明ハ重要ナル説明ト心得ル、然ラバ其意味ハ數量ノ調節ニ非ズシテ價格ノ調節ト謂ハナケレバナラヌ、若シ數量ノ過不足ヲ第一ノ根據ニ置ケバ、其價格ニ拘ラズニ必要ノ數量ハ買上ゲナケレバナラヌ、然ルニ買上ノ際ニ當リ其價格ニ及ンダナラバ買上ヲ中止スル、斯ウ云フ政府ノ説明モアリマシテ、單ニ數量ヲ調節スルニ非ズシテ、價格ニモ準準ヲ保チタイト云フコトハ、政府ノ原案ノ趣意ニ於テモ確ニ重要ナル部分デアルト認メテ居リマス、隨テ私共ハ政府案ニ反對スル意味デハアリマセス、其大切ナル精神ヲ此法案ニ書入レテ置クト云フコトハ、此法案ノ運用ノ上ニモ、亦國民全般ガ此法案ニ賴ル上カラモ大切ナ事ト心得マス、隨テ價格ト云フ文字ヲ入レルト云フコトハ、最も大切ナ事ト心得マス、凡ソ需要供給ノ關係ハ、ソレニ依テ價格ノ高低ヲ致スト云フコトハ、經濟普通ノ原則デアリマス、隨テ只今土井君ノ如キ鯨ノ兩面デアル、盾ノ兩面デアルト云フ趣意ヲ以テ、此私共ガ重要ナル箇條デアルト心得ル價格ハ入レル必要ガナイト云フ御駁論デアリマスケレドモ、私共考ヘルノニ、勿論需要供給ガ物價高低ノ普通ノ原則デアリマスケレドモ、米ナルモノハ需要供給ノ一般原則ノミニ依テ是ガ高低シナイノデア、縱令僅カ百石剩ッテモ剩ッタノハ剩ッタノデア、ソレダケハ其年ハ要ラナイノデア、若シ翌年ニ又剩レバ矢張ソレダケ剩ルノデア、普通ノ商品ハ其需要供給ノ多寡關係ガ物價ニ波ヲ起シマスケレドモ、米穀ナルモノハ剩レバ、剩ッタ物ハ即チソレダケ剩ルノデアリマス、是ガ世間ニ今日謂ハレル、我ガ米穀ナルモノハ國際の商品ニ非ズシテ、我ガ日本特有ノ孤立的經濟物件デアルト云フヤウナ事モ、大ナル根據ヲ持ッノデアリマス、隨テ普通ノ原則ニ依ラナイデ行ク場合ガ多イ、他ノ商品トハ大ニ趣ヲ異ニ致シテ居リマス、又取引所、其他普通商人、其他ノ投機的行爲ニ依テ、只今ノヤウニ剩レバ剩ッテ九デ其時ニハ用ヲ爲サナイ、一時ノ時間ガアリマスカラ、其等ノ爲メニ需要供給ノ原則ヲ破壞スル場合ガ多イノデアリマスカラ、數量ノミヲ本トスル如キ規定ヲ設クルト云フ事ハ、法案ノ運用ノ上ニモ、殊ニ生産者ノミナ

ラズ消費者ヲモ安定セシムル様、全般國民ノ食糧政策ノ基礎ヲ立テ様ト云フニハ、必ズ此價格ナルモノガ大ナル基礎ヲ爲スト心得マス、希クハ此法案ガ公正ニ適當ニ運用セラレマシテ、生産者モ安シテ吾ガ事業ニ努力シ得ラレ、消費者モ亦意外ナル暴騰、米不足ヲ見テ國民一日モ安ンズル事能ハズシテ、米暴動等ノ起ル事ノナイ様ニ、切ニ希望スル精神ヨリ致シマシテ、價格ト云フ事ヲ此米穀ノ調節ヲ運用スル人ノ目標トシテ、第一ニ置クベキ事ヲ、法案ニ規定スルノハ最も大事ト心得マシテ、私共ハ價格ト云フ事ヲ本案ニ入レルコトヲ熱心ニ主張致ス者デアリマス、是ハ政府ノ意思ニモ反對スルニ非ズシテ、政府ノ答辯ニモ其趣意ハ含マレテ居ルヤウニ心得ルノデアリマス、隨テ此運用ニ重大ナル意義ヲ持ツベキ其精神ヲ明ニスルト云フ事ハ、法律ヲ成ベク完全ニ致スト云フ上ニ於テ最も必要ト心得ルノデアリマス、ソレニ依リマシテ只今ノ本法案中米穀ノ需給ヲ調節スルコト云フ各箇條ノ文句ニ、及ヒ價格ト云フコトヲ入レト云フコトヲ主張致ス者デアリマス、ソレカラ第二ニ米穀ノ需給、價格ヲ調節スル此法律ヲ運用スルト云フコトハ、非常ニ重大デアリマシテ、此法案ハ僅カ五條ニ止ル簡單ナ案デアリマスケレドモ、之ヲ運用スルト云フコトハ六千万國民ノ總テノ頭上ニ懸ル重大事件デアリマスカラ、此運用ノ局ニ當ルト云フコトニ就テハ、非常ニ慎重ノ注意ヲ要スルノデアリマス、隨テ之ヲ相當ナル機關ヲ設ケテソレニ諮詢シテ、衆智ヲ集メ公平ヲ圖ルト云フコトハ非常ニ大キナ事ト心得マス、本案ノ運用ハ其需給調節委員會ナルモノ、活動ニ待タナケレバナラヌ、隨テ本案ト致シテハ其委員會ナル者ガ寧ろ骨子トナルベキモノト心得ル、運用ノ妙ハ人ニ存スル、其運用ハ全部ヲ舉ゲテ賴ル所ハ委員會デ、其委員會ナルモノニ掛ケルト云フコトガ本案重要ノ骨子トスレバ、其事ヲ法律ニ掲ゲテ置クト云フコトハ、本案ガ大切デアルト同ジヤウニ大切ナ事ト心得ルノデアリマス、是ハ他ニモ澤山例ガアリマス、軍需品ニ關シテハ軍需品評議會、其他多クノ場合ニ斯様ナ委員會ヲ設クル場合ニハ、總テノ前例ハ其組織ノ法案ニ掲ゲテ居ルノデ

アリマス、殊ニ一層此米穀法ヲ運用スルニ重要ナル機關ガ、如何ナル事ヲスルヤト云フコトノ根據ヲ本案ニ掲ゲテ置カスト云フコトハ、本案ノ一ノ缺點デアルト心得ルノデアリマス、現政府ハ必ズ是ヲ置クト云フ辯明デアリマス、必ズ置クト辯明セラル、事ソレガ本案ノ重要案件デアルト心得マス、又私共モ政府ノ其意思ニ賛成致スノデ、其意味ニ於テ他ノ重要ナル法案ノ例ニモ依リテ、是レノ事ハ其委員會ニ諮詢致ス、其委員會ノ組織ハ如何ニスルト云フコトハ、此本案ノ精神ニ反スルコトデナイノミナラズ、寧ろ政府ノ意思ニモ合致シ、法案ノ精神ニモ合致シ、其運用ノ上ニ於テ國民ノ向フ所ヲ明ニセシメ、現政府ハ必ズアルト言ヒナガラ法律ニモ何ニモナイ、唯ダ委員會ニ於テ、議會ニ於テノ説明ヲ聞クノミ、其事ガ更ニ見エナイト云フコトハ、甚ダ重要ナル法律ニ於テ宜シクナイコトハ、心得マス、此故ニ是非此一箇條ヲ加ヘラレンコトヲ希望致シテ、此修正案ニ賛成致スノデアリマス、第三ニ罹災救助基金法中ニ於テ、産業組合、農業倉庫ニ此罹災救助基金ヲ融通スルト云フコトヲ加ヘタイ、是ハ全國一般地方民、殊ニ農民ノ最モ希望スル所デアリマス、今日米穀ノ生産者タル地方農民ニ、成ベク農業ノ上ニ其事業ノ進歩發展ヲ圖ラシムルト云フコトハ、ソレガ相當ノ途ヲ開キタイト云フコトハ、當ニ農業ヲ保護スルニ非ズシテ、國民全般ノ生活安全ヲ期スル爲デアリマスカラ、出來得ルダケサウ云フ途ヲ開クト云フコトハ最モ希望スル所デアリマス、從來我ガ帝國議會ニ其請願ナリ、建議ナリ、屢々現レテ居ル問題デアリマス、況ヤ米穀法ナル大法律ヲ出シテ、此米穀ノ調節ヲ計ラントスルニ當リテハ、斯ノ如キ地方ノ米穀ノ調節ニモ重大ナル關係アル産業組合、農業倉庫等ニ便利ヲ與ヘルト云フコトハ、即チ米穀法ナル大法律ヲ運用シ、其法律ノ精神ヲ國民ニ貫徹スル上ニ於テモ重大ナル事例デアルト心得マス、隨テ政府ガ罹災救助基金ヲ買入レニ融通スルコトヲ得ルト云フ精神ヲ擴充致シ、更ニ農業倉庫、産業組合ニモ融通スルト云フコトノ途ヲ開クノハ、百尺竿頭一步ヲ進メテ此法案ヲ完全ニ致ス所以ト心得マス、土

井君ハ産業組合通ト心得テ居リマシタガ、意外ニモ此修正案ニ反對セラレタノハ、吾一驚ヲ喫セザルヲ得ヌノデアリマス、産業組合ナルモノハ決シテ金ヲ貯メル所デハナイノデス、唯ダ金ヲ貯メサヘスレバ産業組合ノ目的ヲ達スルノデハナイ、産業組合ハ貯蓄モ致シマセウガ、之ヲ利用シナケレバナラス、地方ノ細民カラ金ヲ集メテソレヲ銀行ニ預金スルト云フ如キハ、最モ産業組合ノ精神ニ反スル者ト心得ル、冀クハ地方ノ小資ヲ集メテ之ヲ地方ノ農業ニ利用スルノデ、或ハ良イ産業組合ガ金ガ剩ッテ困ルト云フヤウナコトガアリトシテ、ソレナラバ其地方ハ潤澤デアルカト云フト、決シテサウデハナイ、到ル所低利資金ノ運用ヲ希望シテ居ルデハアリマセンカ、土井君モ政府ニ迫ッテ居ル一人デハアリマセンカ、産業ノ組合ガ金ヲ持テ餘スト云フヤウナコトハ、産業組合ノ最モ下手ナモノデアル、之ヲ運用シ活用シテ初メテ産業組合ノ精神ガ達セラル、モノト思フ、産業組合ガ金ヲ擁シテ困ルトコトノナイヤウニ地方ニ活用シテ、サウシテ地方ガ高利ノ金デ苦シンデ居ル、ソレガ爲メニ今日ハ益々自作農ガ減ジ、地方ノ農村ガ衰ヘツ、アル、其狀態ヲ救済致シタイト云フコトガ、吾ガ常ニ低利資金ヲ要求致シ、地方農民ノ擁護ヲ渴望スル所以デアリマス、殊ニ産業ニハ良イノト惡イノトガアル、——良イノト惡イノトガアルト云フコトハ事實ノ問題デアル、之ヲ監督シ指導シテ惡イモノノナイヤウニシナケレバナリマセヌ、實際ニ於テ産業組合ヲ旨ク運用ガ出來ヌモノガアルト云フコトハ、其産業組合ニ金ヲ融通スルト云フ問題トハ全ク別問題デ、根柢ヲ異ニシテ居ル問題デアル、惡イモノハ改良スベシ、ソレニ對シテ資力ヲ與ヘヨ、活力ヲ與ヘヨト云フ問題ト、産業組合ノ實質ノ善惡可否ノ問題ヲ混同シテ論ゼラレザラヌコトヲ希望致スノデアリマス、若シ産業組合ニ紊亂シタモノガアルトカ、宜シクナイモノガアルト云フコトニナリマシテハ、是ハ、實ニ由々敷大事デアリマス、サウ云フコトハ須ク政府當局其他ニ於テ十分ノ監督指導ヲ希望シナケレバナリマセヌト同時ニ、他方ニ於テ低利資金其他ノ金融ヲ零細ナル農業家ニ活用セララル途ヲ開クト云

フコトハ、吾一ノ平素カラ最モ希望シテ居ル所デアリマスカラ、其等ノ理由ニ依リマシテ、不良産業組合ノ改善ノ問題ト資金ノ問題ヲ混同セラレテ、吾一ノ精神ヲ誤解セラレル事ノナイヤウニ希望シマス、政府案ノ趣意ニ依テハ、又國民ノ全般ノ要望カラ申シマシテ、是ハ大切ナ修正ト心得マスカラ、私ノ熱心ニ此案ニ賛成スルト同時ニ、土井君始メ滿場ノ諸君ノ切ニ地方ノ農民ノ爲メニ、此修正案ニ多大ノ注意ヲ加ヘラレンコトヲ、サウシテ御賛成アラントヲ希望致シマス

○上田彌兵衛君 本案ハ從來ノ米政策ガ一時的所謂應急策デアリマシタノガ、又價格ノ調節主義デアリマシタノガ、常設的ニ恒久的ノ施設トナリマシテ、而モ需給調節主義デアリマスカラ、我國ノ食糧政策ノ解決ニ一步ヲ進メタモノト認メマシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、此需給調節ト價格調節ニ就テ、只今荒川君ノ御説モ拜聽シタノデアリマスガ、需給調節ハ此字句ノ解釋ヨリ致シマシテハ、固ヨリ經濟上ノ原則カラ致シマシテ、需給ヲ調節スルト云フコトハ、隨テ價格ヲ調節スルト云フコトニ十分ナル意義ヲ含ンデ居ルモノト認メルノデアリマス、然ラバ需給ト價格ト云フ事ヲ、此ニツ爰ニ規定ヲ入レル方ガ宜クハナイカト云フ御議論モアリマスガ、價格ト云フコトヲ爰ニ置キマスト云フコトハ、所謂人心ニ刺戟ヲ與ヘル事ガ多クナリマス、却テ價格ノ動亂ヲ來スト云フ虞ガアルノデアリマス、固ヨリ我國ノ食糧問題ニハ數量ノ問題、價格ノ問題ガ相錯綜シテ、二ツノ現象ヲ現ハスノデアリマスガ、其原因ハ矢張需給ノ關係デナケレバナラスノデアリマス、而シテ價格ト云フ事ニナリマスト、非常ニ社會ノ人心ニ注意ヲ與ヘル、又投機的思想ニ大ナル刺戟ヲ與ヘルコトニナリマスカラ、若シ價格ト云フコトニ重キヲ置クト云フ事ニナリマスト云フト、只今小菅君ノ言ハレタ如ク、投機者流ノ利用物トナリマシテ、却テ其目的ヲ達スル事ガ出來ナイ事ニ陥ルノデアリマス、是ハ爰ニ諄々シク申述ベルマデモナク、歴代内閣ガ米價政策ニ失敗シタ歴史ヲ見マスト、必ズ價格ト云フモノヲ調節ノ重キニ置キマシタガ爲メニ、

遂ニ投機者流ノ利用ニ負ケマシテ、遂ニ其目的ガ失敗ニ歸シタト云フコトハ、歴然トシテ現ハレテ居ルノデアリマス、當ニ明治歴代ノ政府ヲ誤レルノミナラズ、徳川幕府時代ノ米政策ニ於キマシテモ、價格調節主義ニ重キヲ置キマシタ政策ハ、總テ失敗ニ歸シテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、私ハ價格調節主義ガ需給調節主義ニ變リマシタ故ヲ以チマシテ、本案ガ我國ノ食糧政策ノ解決ニ一歩ヲ進メタモノト信ズルノデアリマス、併ナガラ本案ヲ以チマシテ我國ノ食糧政策ガ完全ニ確立スルモノトハ信ジナイノデアリマス、ソレ故ニ今一歩ヲ進メテ、一定ノ價格ヲ維持スルコトヲ希望スルノデアリマス、ケレドモ、是非トモ米ナルモノヲ商品ノ範圍カラ斥ケナケレバナラス、商品タル以上ハ多少ノ價格ノ變動ノアルコトハ、總テ物價ト相伴ヒマシテ經濟上ノ原則トシテ、到底免レルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレ故ニ一定ノ價格ヲ維持スルコトヲ云フコトニナリマス、是ハ官營ノ外ハナイ、併ナガラ我國ノ現時ノ財政狀態、經濟狀態カラ考ヘマシテ、今直グニ一足飛ニ官營ニ致スト云フコトハ、是亦多クノ論議研究ヲ要スベキモノト信ズルノデアリマス、而シテ斯ノ如キ論議研究ニ相當ノ時間ヲ要スル間、之ヲ打捨テ、置イテ宜イカト申シマスルコト云フト、我國ノ現時ノ米ノ生産狀態カラ考ヘマスルコト、常ニ供給不足勝ニナリマス、將來米價ノ暴騰ノ爲メニ國民生活ニ不安ヲ感ズルコトガ屢々アラウト思フノデアリマス、其都度ニ一時的ノ應急策ニ依リマシテ、人爲ヲ以テ大勢ニ逆ウト云フガ如キコトノ施設ヲ致シマスナラバ、當ニ米價ノ動搖ヲ來シマスノミナラズ、經濟界ニ對シマシテモ、大ナル動搖ヲ起サシムル虞ガアルノデアリマス、ソレ故ニ此處ニ常設的ニ此規定ヲ設ケマシテ、國民生活ノ安定ヲ得セシムルコトヲ云フコトハ、政策上又理論上カラ見マシテモ適當ナリト信ズルノデアリマス、唯ダ本案ハ其理論ヨリモ運用ガ非常ニ大事デアリマス、此運用ノ如何ニ依リマシテ國家ノ休戚ニモ關スル次第デアリマス、政府ハ十分ニ運用ニ意ヲ用キラル、コトヲ望ミマス、國民モ亦之ニ對シテハ深甚ノ注意ヲ拂ハネバナラス

ト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ茲ニ二三ノ希望ヲ申述ベテ置キマシテ、政府ノ御注意ヲ喚起シタイト思フノデアリマス、ソレハ第一、政府ハ速ニ收穫豫想調査方法ノ統一ヲ期スルコト、第二米價高低判斷ノ基準ヲ豫メ決定シ置クコト、第三、外米管理ノ適否ニ對シ更ニ相當ノ考慮研究ヲセラレタキコト、第一ノ收穫豫想ノ調査方法ヲ一定スルコトハ、需給調節策ノ運用ニ對シテ根本ノ必要條件デアルト信ジマス、又米價ガ高過ギルトカ、廉過ギルトカ云フコトヲ、其都度ニ論議ヲシテ居リマスルコト、遂ニ實行ノ時機ヲ失フ虞ガアリマス、之ニ對シテ經濟上ノ關係、勞銀ノ關係、生産費ノ關係ニ依テ、相當ノ指數ヲ割出シテ置キマシテ、其指數ニ依テ米價ト諸物價トノ鈎合ガ適當デアルカ、又指數ガ非常ニ殖エタ場合ニハ是ハ如何ナル原因デアルカ、又之ニ達スレバ高過ギルトデアアル、又下ガレバ廉過ギルトデアアル、高過ギルト廉過ギルト云フコトヲ判斷スル所ノ基準ヲ茲ニ定メテ置キマセスト、如何ニ調節委員ガ經驗アリ、學力アリト雖モ、其都度之ヲ論議スルコトハ困難ト思ヒマス、カ、豫メ之ニ對スル判斷ノ基準ヲ規定シ置カルル事ヲ希望スルノデアリマス、而シテ又外米管理ハ、此需給調節主義ヲ完成スル上ニ、外米ヲ之ニ關聯致シマシテ其需給ノ緩急ヲ期スルコト云フ事ハ、本問題ヲ解決スル上ニ於テ重大ナル關係ヲ持ツモノト思フノデアリマス、併ナガラ先般大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、目下之ヲ管理スルノ御意思ガナイト云フコトデアリマス、強テ私ハ之ヲ固執シナイノデアリマス、更ニ政府ハ此問題ニ對シテ十分ニ研究ヲ爲サレシコトヲ希望スルノデアリマス、此三ツノ希望ヲ附シマシテ本案ニ賛成致ス次第デアリマス

○委員長(山本悌二郎君) 東武君

○東武君 我ハ原案ヲ賛成スル者デアリマス、各派トモ大體ニ於テ悉ク本案ニ賛成ノ意思ヲ持ッテ居ルモノト思ッテ居リマス、唯小菅君ガ反對ノ意見ヲ申述ベラレタノミデ、其他ハ反對ノ論旨ヲ聽カナイノデアリマス、憲政會ノ齋藤君ヨリ二三修正ガアリマシタガ、此修正ト雖モ本案ヲ運用スル上ニ於テ最モ完全ヲ期スル希望ヨリ出ヅルモノデ、絶對ニ反對ノ意

思ハナイノデアリマス、要スルニ本案ハ我國ノ食糧政策ヲ安定スベキ大法案デアリマシテ、當内閣ガ非常ナ英斷ヲ以テ之ヲ提出セラレタモノト信ズルノデアリマス、我國ノ食糧問題、即チ米價問題ハ最近起タモノデナクシテ、遠イ幕府時代カラ米價問題ニハ非常ニ國民ハ種々苦楚ヲ嘗メテ居ル、幕府時代ニ於テモ、寶曆十年ニ於テ幕府ハ米ガ非常ニ下落シタ場合ニ於テ、米ノ買上ヲ大ニヤツタコトガアル、當時大阪ノ鴻池初メ二百有餘ノ御用商人ニ命ジテ、莫大ノ金ヲ貸シテ米ノ買上ヲ致シタ、併シ此政策モ行ハレズシテ、淀川ニ米ノ堤防ヲ築キ、天保山沖ニ米ヲ船デ運ンデ海ニ投ジタト云フヤウナ事件モアリマス、又天明二年、三年、四年ニ互ッテ、米價暴騰ニ會シ奸商ヲ捕縛シタヤウナ事モアリマス、江戸、京都、大阪、伏見ニ燒打事件ガ屢々起ツタ事實モアリマス、又天保年間ニ至ッテハ、米價暴騰ニ對シテ細民ガ困難スルコト云フノデ、大鹽平八郎ガ亂ヲ起シタ事モアリマス、幕府時代ニモ此政策ニハ頗ル惱ンダモノデアリマス、又明治年代ニナツテ以來モ、近年大隈内閣時分ニ米價暴落ヲ止シシタ事實ガアリマス、ソレカラ寺内内閣ニ至ッテ暴利取締令、外米管理令其他外米輸入令ガ出テ、米價ノ需給調節ヲ試ミタ例モアリマス、又最近ニ至リマシテ原内閣ニナツテ以來モ、米價調節ト云フ議論ハ過去二、三年ヲ通ジテ上下兩院ノ大問題トナツテ居タノデアリマス、而シテ此問題ニ就テ我國民ハ如何シテ食糧問題ノ大體ノ方針ヲ決定スルカト云フ事ニ就テ、朝野ノ識者ハ等シク此問題ニハ幾多ノ研究苦心ヲ拂ッテ居ッタノデアリマス、又只今提出セラレアル所ノ米穀法案ノ如キモ、原内閣ガ之ヲ提案シタト云フコトハ、吾々非常ニ喜ンデ居リマス、ケレドモ、其原因ヲ釋ヘルト、遠ク大隈内閣時代カラ此制度ヲ行フベキヤ否ヤハ當局ノ間ニ研究サレタ事實ガアル、寺内内閣ニ於テモ幾度モ立案サレタノデアアル、ケレドモ不幸ニシテ未ダ成案トナル迄ニ至ラナカッタ、現政府ニ至ッテ初メテ此大問題ヲ解決スルニ至ッタノデアリマス、之ニ就テモ種々ノ手段方法ヲ講ジテ居ル、數箇月前ヨリシテ財政經濟調査會ヲ設ケラレテ、有ユル衆知ヲ網羅シテ、研鑽ニ研鑽ヲ重ネテ、初メテ

財政經濟調查會ノ方針ニ依テ此案ガ制定サレタト云フ歴史ニナツテ居ルノデアリマス、私共ハ此案ハ實ニ國家百年ノ大計ヲ確立スルモノトシテ、非常ニ悅ンデ居ルト同時ニ、又本案ハ當委員會ノ傾向ニ依テ見マシテモ、殆ド政黨政派ヲ超越シテ居ル案ト信ジテ居リマス、又此案ハ世間ニハ生産者ヲ保護スルモノデアアル、消費者ニ對シテハ甚ダ恩惠ノ少イモノデアルト云フ事ヲ論ジテ居リマスガ、是ハ洵ニ謬レル議論デアアル、本案ハ已ニ其骨子ガ生産者側ト消費者側ト兩様ニ立ツテ調節シヤウト云フノガ、主タル目的ニナツテ居ルノデアリマシテ、即チ需給ヲ調節スルト云フコトガ目的デアルト同時ニ、價格ト云フノハ即チ主體デナクシテ從體ノ效果ニナツテ居ルノデアアル、生産者ノ側カラ言ヘバ、今一步進ンデ價格ノ平準ヲ期スルト云フ憲政會ノ案ニ賛成スルコトヲ希望スルデアリマセウ、吾々モ生産者側ノ一人トシテハ齋藤君、荒川君ノ御議論ニ滿腔ノ敬意ヲ表シテ賛成致シタイノデアリマスケレドモ、價格ノ平準ヲ期スルト云フコトハ、此案デハ寧ロ從體ニナツテ居ッテ、量ヲ調節スルト云フコトガ主體ニナツテ居ル、デ價格ノコトハ本案ノ結果ニナツテ來ルノデアリマスカラ、ソレガ全ク影響ガナイトハ申シマセスケレドモ、量ヲ調節スル結果トシテ自ラ價格ノ調節ガ出來ルノデアアル、若シ一步進ンデ價格ノ調節ヲスルト云フコトニナレバ、是ハ寧ロ公定相場ヲ定メルカ、若クハ國營ニスルカニシナケレバ、價格ノ平準ヲ期スルコトハ出來ナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ此生産者側ヲ保護スルト云フコトガ主タル目的デハナイ、消費者生産者相聯關シテ食糧問題ノ解決ヲスルト云フコトノ趣意ニ依ッテ作製サレタ案ト信ジマスルガ故ニ、此意味ニ於テ私ハ本案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアルト同時ニ、世間ガ消費者側ニ何等恩惠ガナイト云フコトヲ言フノハ、非常ニ誤ッテ議論ト思フノデアリマス、ソレカラ調節委員云々ノコトハ、此法令ニ規定ガナイト云フコトデアリマスガ、是モ御尤ノ御議論ト私ハ考ヘテ居リマスガ、審カニ本案ノ内容ヲ審查致シテ見マスルト、先ハ先日調査機關ナルモノハ實行機關力運用機關カト云フコトヲ當局者ニ

質問致シマシタ所、當局者ハ是ハ諮問機關デアアル、責任者ハ農商務大臣ガ全責任ヲ負フノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、財政經濟調查會ノ特別機關ナル需給調節機關ナルモノハ、是ハ實行機關ニナツテ居ル財政經濟調查會ハ米麥ノ買入及賣却、其他米麥ノ需給調節ニ關スル一切ノ事項ヲ掌ラシムルト云フ方針ニナツテ居リマス、ソレカラ農業者、倉庫業者、取引業者等ニ對シ米麥ノ收穫高及在高ノ申告ヲ命ジ、且ツ必要ニ應ジ臨檢スルノ權能ヲ特別機關ニ附與スルモノトストナツテ居リマス、是レナラバ實行機關デ、此調節委員會ハ一種ノ食糧政策ヲ掌ル所ノ委員會ニナツテ來ルノデアリマスガ、本案ニ依ルモノハ政府委員ノ聲明スル所ニ依リマスレバ、是ハ一種ノ諮問機關デアルト云フ事デアアル、ソレヲ明ニ言明シテ居ル以上ハ、責任ハ當然農商務大臣ニ歸スルノデアアル、又一方ニ事務ヲ掌ル權能ガナインデアアルカラ、斯ウ云フ委員會ハ本案ノ中ニ制定スル必要ハナイト思フ、此意味ニ於テ調節機關ナルモノヲ此案ニ加ヘルコトハ全ク無用デアルト考ヘテ居リマス、其他小菅君ノ絕對反對ニ對シテハ、小菅君ハ此案ハ極メテ杜撰デアルト云フコトデアリマス、成程此案ハ杜撰デアアルカモ知レマセスガ、政府モ屢々言ハレル如ク是ハ初メテノ試デアアル、而シテ現在ノ有様ニ於テ食糧ノ安定ヲ期スル事ガ必要デアルト認メタナラバ、爲政者ガ之ヲ其儘ニ放任スルノ不可ナルコトハ明デアアル、隨テ此案ハ官民協力シテヤラナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ此案ノ實行ニ就テ、二億圓デハ到底調節ノ目的ヲ達スルコトハ出來マイ、是モ一應御尤モデアリマスガ、是モ屢々政府モ聲明スル如ク、必要ノアツタ場合ニハ或ハ追加豫算ノ形式ヲ以テ更ニ金額ヲ増加スル場合ガアルカモ知レナイト答辯シテ居リマスカラ、ソレモ餘リ多クノ心配ヲスル必要ハナイト考ヘテ居リマス、尙小菅君ノ絕對反對ノ意見ト致シマシテ、物價ハ際限ナク下落シナイ、殊ニ食糧ガ下落シナイノハ生産費ガ増加スルコトニナルノデアアルカラ、却テ國ノ貿易上ニモ宜シクナイ、又失業者或ハ勞働者等ノコトモ考ヘナケレバナラヌト云フ御議論ガアリマシタガ、本案ハ政府ノ言明スル

所ニ依ッテモ、吾々ガ本案ヲ審查スル上ニ於テモ、生産者ヲ保護スルト云フ立場ニ於テ起案サレタ一種ノ法案デアルト云フコトハ、前段申上ダタ如キ理由デアリマスカラ、此案ハ寧ロ失業者或ハ勞働者ニ取ツテモ極メテ大ナル福音デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ私ハ小菅君ノ絕對反對ニ對シテ更ニ御再考ヲ願ヒタイ、小菅君モ尙ホ御研究ニナツテ吾等ト同一ノ意見ニ依ッテ、此案ヲ政黨政派ヲ超越シタモノトシテ、滿場一致原案ニ賛成アランコトヲ希望致シマス、私ハ此意味ニ於テ原案ニ賛成致シマス

○齋藤宇一郎君 價格ノコトヲ入レマシタコトニ就テ誤解サレテ居ルヤウデアリマス、吾々ガ價格ト云フ字ヲ入レタノハ、價格本位ニ改メルト云フヤウニ御取リナツテ御辯明ニナリマシタガ、サウデハアリマセス、是ハ先刻モ申ス通り兩本位ニシタイト云フノデアリマス、而シテ價格ト云フコトニ重キヲ置キマシタノハ、消費者ヲ脅威スルコトニナリマセスカ、斯様ニ仰シヤッタノデスガ、若シ兩本位一本槍デ進ンデ行ッタ場合ニハ、茲ニ三百萬石剩ルトシテ、ソレヲ買出シタ以上ハ價格ノ如何ニ拘ラズ買進マナケレバナラヌ、サウスルト四十圓ニナラウガ五十圓ニナラウガ買ハナケレバナラヌト云フ、理論の窮地ニ陥ルノデアリマス、故ニサウ云フ時ニハ或ル價格ノ程度ニ止メテ置カナケレバ、消費者ノ生活上ノ安定ヲ得ナイノデアアルカラ、ソレマデ政府モ其處ニ考慮シテ、或ル程度ニ行ッタナラバ止メナケレバナラヌカラ、第三條ニ於テ價格及期間ハ固持スルケレドモ、量ハ固持シナイト云フコトヲ言明シテ居リマス、故ニ即チ此案ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲メニ、此第一條ハ是非兩本位ニ改メナケレバナラヌ、即チ價格ト云フモノハ生産者ノ問題ノミナラズ、消費者ノ安定ヲ期スル事ニナルノデアリマスカラ、只今ノ御話ハ私共ノ修正案ノ意思ヲ誤解セラレタノカ、或ハ徹底シナカッタカ、甚ダ吾々ハ迷惑ニ感ジマスカラ、一言辯明シテ置キマス

○前川虎造君 私共ハ先程申上ゲマシタ趣旨ニ依ッテ、此本案ニ賛成ハ致シマスガ、此本案ノ運用ニ就テハ幾分疑義ヲ有ッテ居リマスカラ、其疑義ニ對スルダ

ケノ警告ヲ政府ニ致シテ置ク積リデアリマス、其警告ハ本會ニ於キマシテ具體的ニ爲ス考デゴザイマス、是ダケ一寸申述ベテ置キマス

○小菅劍之助君 只今東君ヨリ私ノ反對論ニ對シテ、此議論ガ政黨派ヲ超越シタ國家問題デアルカラ、賛成ヲシロト云フノ御言葉ガアリマシタガ、固ヨリ東君ノ御言葉ヲ俟タズシテ分リ切ツテ居ル事デアリマス、私ハ政黨派ニハ固ヨリ超越シテ居ル一人デアリマス、唯ダ國家ノ上カラ考ヘテ有害ナリト認メルガ故ニ反對スルノデアリマス

○八田宗吉君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成者々々ト呼フ者アリ〕

○委員長(山本悌二郎君) 討論終結ノ動議ガ出マシタ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(山本悌二郎君) ソレデハ討論ハ終結致シマシタ、此際何カ政府ノ方デ御述ベニナルコトデモゴザイマセヌカ

○小野政府委員 先刻齋藤君ヨリノ修正案ノ中デ、罹災救助基金法ニ改正ヲ加ヘテ、其基金ノ餘裕金ノ運用ノ一トシテ産業組合、農業倉庫等ニ貸付ケルノ途ヲ開キタイト云フ御意見ガアッタヤウデアリマスガ、ソレニ對シテ土井君ハ時期尙早ナリト云フ意見デ反對サレタヤウデアリマス、併シ政府ト致シマシテ、只今ノ組織ニ依リマスルト、此運用ノ資金ハ現在ノ法ノ示シマスル通り頗ル限定サレテ狭クナツテ居ルノデアリマス、ト申シマスルハ、罹災救助基金ナルモノハ、其基金ノ性質ニ鑑ミマシテ、何時ナリ其非常ナ災害ノ起ツタ場合ニ支出ニ差支ナイヤウニシテ置カナケレバナラス、ソレデアリマスカラ餘裕金ガアリマシテモ、之ヲ運用スルト云フコトハ最モ確實デアリ、且ツ何時ニテモ現金ニ代ル事ノ出來ル方法デナケレバナラス、斯ウ云フ救助基金ノ法ハ頗ル運用ニ就テ狭キニ解釋ヲ執ツテ居リマス、ソレデアリマスカラ此基金法ノ性質カラ見マシテモ、産業組合、農業倉庫等ニマデ運用ヲ擴メマスコトハ、餘程考慮ヲ要スベキ問題デアラウト思フノデアリマス、加之實

際カラ申シマシテモ、大正九年度初メノ基金ノ現在高ハ六千万圓許リアリマスガ、何レモ此法ニ許シテ居リマス運用ノ途ニ運用サレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今般米穀ノ買入ト云フコトニ之ヲ使用致シマス、尙更餘裕金ハ少ナクナルノデアリマス、折角産業組合或ハ農業倉庫等ニ運用スル途ヲ開キマシテモ、是ハ唯ダ形式ノミデアッテ實際ハ左程運用スルコトハ出來ナイノデアリマス、或ハ羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ沽ルト云フ位ニシカナルノデハナイカト政府ハ信ズルノデアリマス、デ基金法ノ性質カラ考ヘテ、又實際ノ基金ノ狀態カラ見マシテ、餘程考慮ヲ要スル問題デアリマシテ、豈當ニ時期尙早ノミニ止ラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、一應政府ノ見解ヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(山本悌二郎君) ソレデハ採決ニ移リマス、齋藤宇一郎君カラ修正意見ガアリマシテ、是ニハ賛成モアリマス、此修正案ヨリ先ニ採決致シマス、齋藤君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

〔賛成者起立〕

○委員長(山本悌二郎君) 少數、修正案ハ否決サレマシタ、次ニ原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

〔賛成者起立〕

○委員長(山本悌二郎君) 大多數デゴザイマス、原案ハ可決サレマシタ、ソレデハ是デ本委員會ハ終了致シマシタ

午後零時二十七分散會